

- CWTW-Proのビルド手順

準備

ビルドツールのインストール

ビルドは、無料で使える「C++Builder Community Edition」統合開発環境を利用。尚、筆者が動作確認したバージョンは 10.3.3。

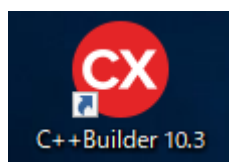
インストール方法などは「[C++Builder \(RAD Studio\)](#)」記事参照。

CWTW-Proソースコードの取得

GitHubから「CWTW-Pro」のソース一式を取得。

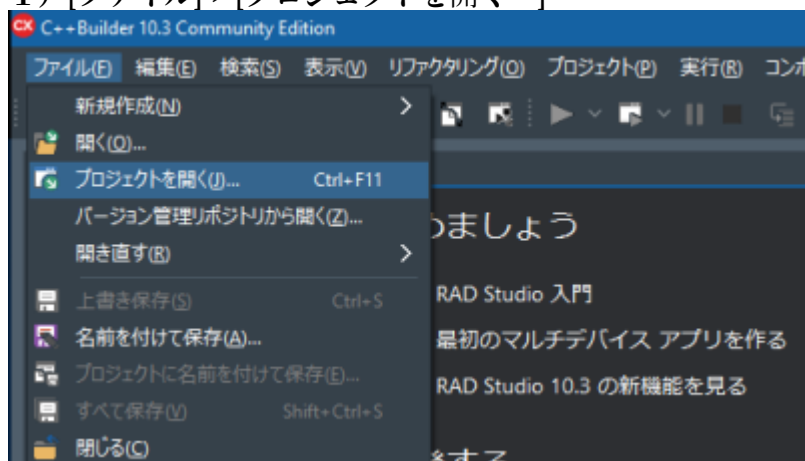
取得手順は「[リポジトリ一式を取得](#)」記事を参照。

プロジェクトを開く

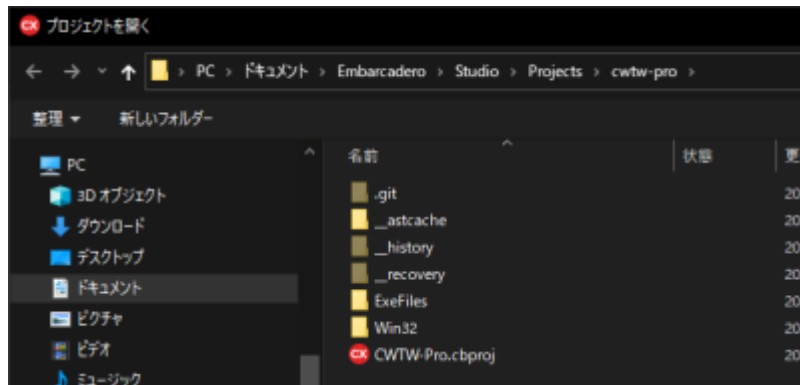


C++Builderを起動し、取得したフォルダ内のC++Builderプロジェクトファイル「CWTW-Pro.cbproj」を開いて、ビルド実行する。

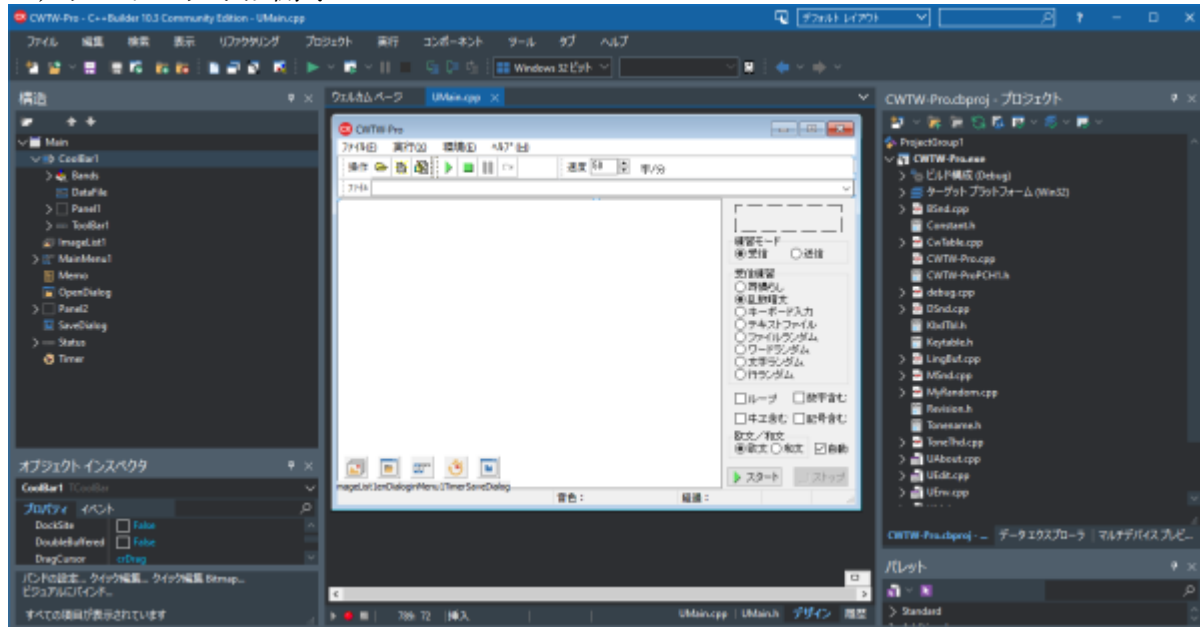
1) [ファイル] > [プロジェクトを開く…]



「CWTW-Pro.cbproj」ファイルを選択して [開く]

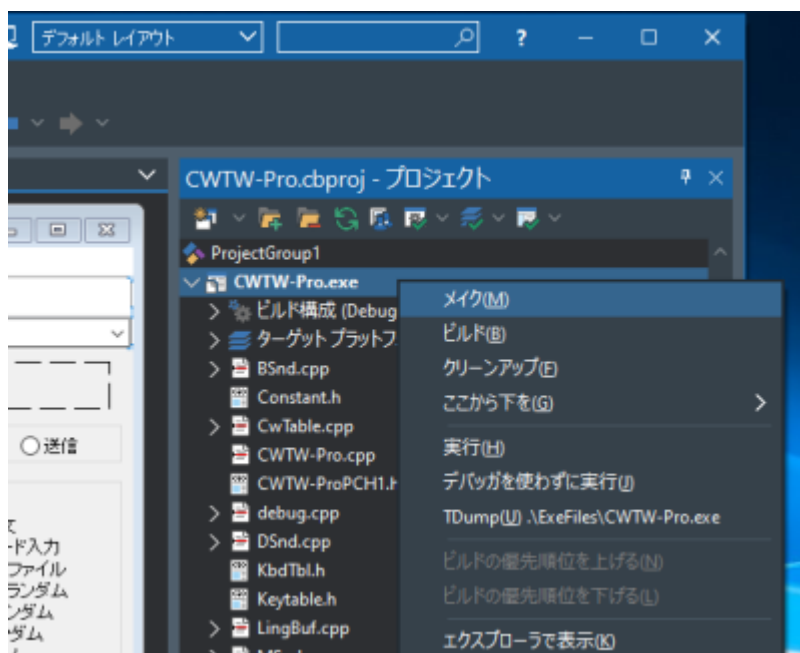


3) プロジェクトが開く



コンパイル実行

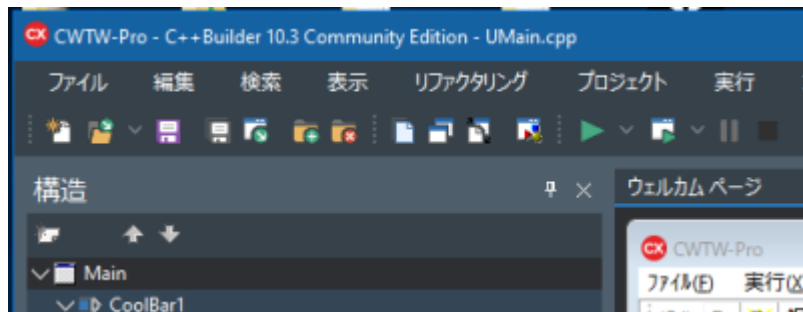
右側のプロジェクトウィンドウの CWTW-Pro.exe の右クリックメニューから [メイク] を押す。



暫くするとコンパイル完了する。

プログラム実行

メニューバーの 三角マーク▶ を 押してプログラム実行する。



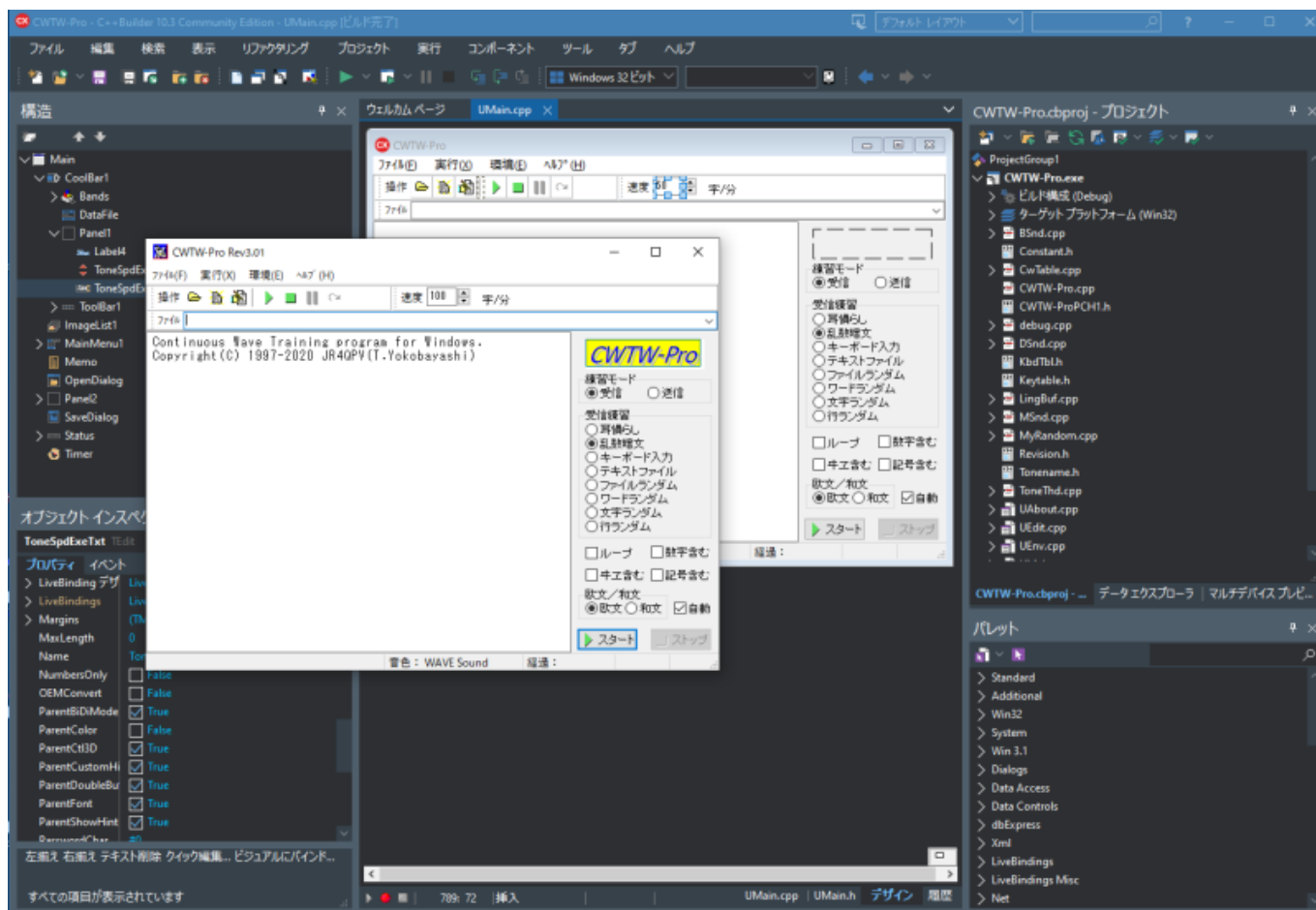
1) デバッガを使った実行



2) デバッガを使わないで実行



実行画面



実行ファイルの生成先

コンパイル後の実行EXEファイルは、プロジェクト内の ExeFiles\ フォルダ下に出力するようにプロジェクト設定してある。



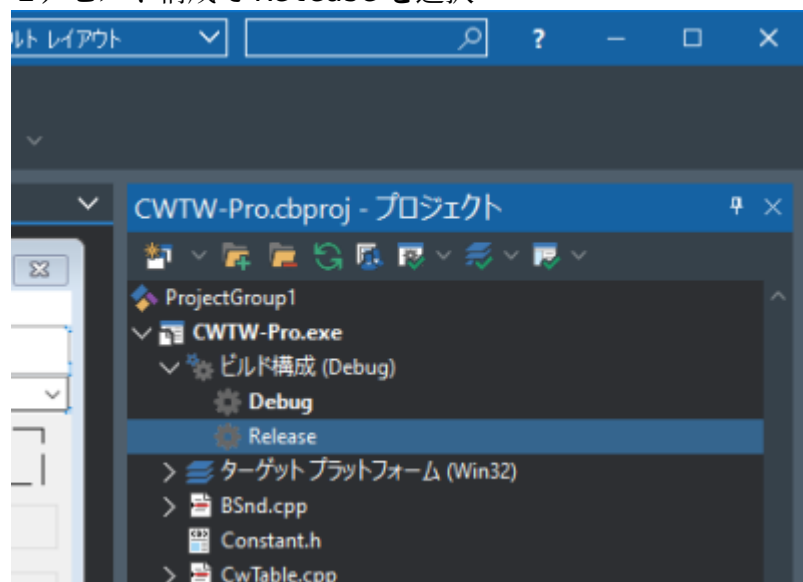
CWTW-Pro.exe がコンパイル結果の実行EXEファイル。

リリース用の実行ファイル生成

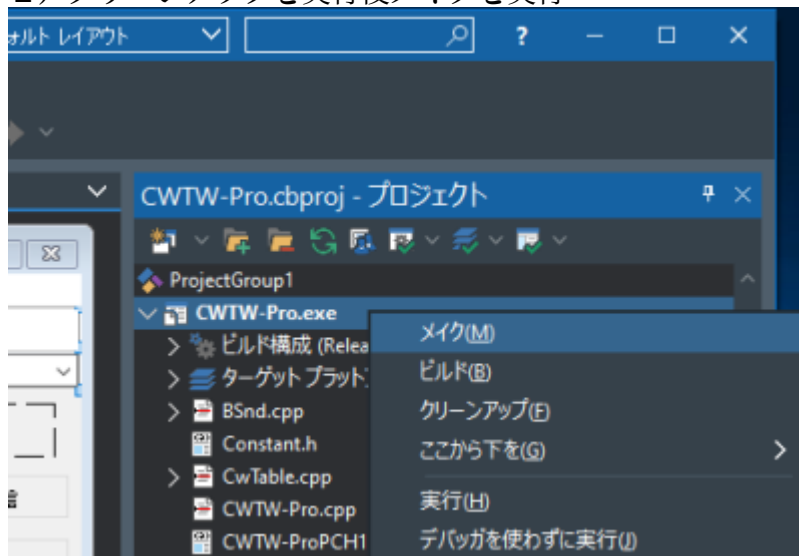
上記のコンパイルでは、Debug用ビルドなので最適化など抑えたコンパイルが実行される。Release用ビルドを選択してコンパイル実行する。

尚、Releaseモードでビルドすると、必要な**実行時ライブラリ**も一緒にリンクするプロジェクト設定にしてあるのでC++BuilderをインストールしていないパソコンでもEXEファイルのみで実行できるファイルを生成する。

1) ビルド構成で Release を選択



2) クリーンアップを実行後メイクを実行



プロジェクト内の ExeFiles\フォルダに、リリース用の 実行EXEファイル（CWTW-Pro.exe）が生成される。

[cwtw-pro](#)

From:

<https://www.yokoweb.net/dokuwiki/> - 新石器Wiki

Permanent link:

<https://www.yokoweb.net/dokuwiki/develop/cwtw-pro/cwtw-pro-build>

Last update: **2026/07/28 13:16**

